



# お勧めの本を紹介します。



旭中学校の生徒の皆さんお元気ですか？

新型コロナの影響による自粛のため、学校に行つての読み聞かせができなくて、皆さんに会えず残念です。そこで読み聞かせのメンバーで話し合つて、メンバーお勧めの本を何回かに分けて、紹介させてもらうことにしました。

「へいわ」と「せんそう」  
確かに違うこのふたつ  
平和の方がいいに決まっている  
・・・だけど。

「へいわのボク」と「せんそうのボク」では、  
なにが変わるんだろう。

例えば

「へいわのボク」はいつも通り、いつもと同じに  
立っている。

「せんそうのボク」は座り込んでしまっている。

「へいわのワタシ」は勉強をしている。これもいつも通り。

「せんそうのワタシ」は何もしていない。

それは、行き来が可能な世界ではない。「せんそう」が  
終われば戻る世界でもない。何かが無くなった、だけでは  
終わらない。 (一部省略)

戦後生まれが人口の約8割となっているようですね。

シンプルな絵と文ですが、どの年代でも読みやすい

(考えやすい) と思います。(ボランティアより)



劇作家、野田秀喜がアエラで連載した  
エッセイ集。掌エッセイでサクサク読めて  
共感ができる。さすが劇作家は独り言のような  
文章が楽しい「日本の便器に隙を見せるな」高級  
レストランで遭遇した最新鋭のトイレに戸惑う話。  
「地獄のBGM」公の場でしょうもない音楽を  
無理やり聞かされる話。著者が中学生の頃のエピ  
ソード「資本主義に気をつけろ」も最後のおちで  
笑いっぱなし。

古い本ですが、今読んでも笑える◎



読み聞かせグループ「はなばたけ」